

令和 5 年度 事業報告

社会福祉法人 大鰐町社会福祉協議会

令和5年度 大鰐町社会福祉協議会事業報告

1 法人経営の組織基盤の強化

(1) 会員の加入促進

地域福祉の推進に参加・協働する地域住民及び団体・企業等を構成員とし、地域福祉への理解を促し、安定した財源の確保のため、一般会員の他、特別会員・賛助会員の新規加入の促進に努めた。

会員・会費の状況

会員区分	加入数（件）	金額（円）	前年度比（円）
一般会員（原則1,000円）	1,810 【1,893】	1,809,500 【1,892,000】	△82,500
特別会員（2,000円以上）	23 【25】	46,000 【50,000】	△4,000
賛助会員（3,000円以上）	62 【63】	241,000 【238,000】	3,000
合計	1,895 【1,981】	2,096,500 【2,180,000】	△83,500

※ 【 】内は令和4年度実績

(2) 理事会・評議員会の開催状況

第1回理事会 6月12日開催 理事8名・監事2名出席	
理事会 議案番号	議 案 内 容
第1号	令和4年度事業報告について
第2号	令和4年度収支決算について
第3号	令和5年度第1次資金収支補正予算案
第4号	大鰐町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任について
第5号	評議員候補者の推薦について
第6号	理事候補者について
第7号	監事候補者について
第8号	令和5年度第1回評議員会の開催について

第1回評議員会 6月27日開催 評議員14名・理事3名・監事2名出席	
評議員会 議案番号	議 案 内 容
第1号	令和4年度事業報告について
第2号	令和4年度収支決算について
第3号	令和5年度第1次資金収支補正予算案について
第4号	理事者の選任について
第5号	監事の選任について

第2回理事会 6月27日開催 理事8名・監事2名出席	
理事会 議案番号	議 案 内 容
第9号	会長の選定について
第10号	副会長の選定について
第11号	常務理事の選定について

第3回理事会（書面決議） 7月12日提案 7月18日議決	
理事会 議案番号	議 案 内 容
第12号	令和5年度第2次資金収支補正予算案

第4回理事会 12月22日開催 理事8名・監事2名出席	
理事会 議案番号	議 案 内 容
第13号	令和5年度第3次資金収支補正予算案
第14号	評議員選任・解任委員会委員の選任について
第15号	評議員候補者の推薦について

第5回理事会 3月21日開催 理事10名・監事2名出席	
理事会 議案番号	議 案 内 容
第16号	社会福祉法人大鰐町社会福祉協議会職員給与規程の一部改正案について
第17号	社会福祉法人大鰐町社会福祉協議会部会設置規程の一部改正案について
第18号	大鰐町シルバー人材センター運営規約の一部改正案について
第19号	令和6年度事業計画案について
第20号	令和6年度資金収支予算案について
第21号	令和6年度社会福祉法人大鰐町社会福祉協議会役員等賠償責任保険の契約締結について
第22号	令和5年度第2回評議員会の開催について

第2回評議員会 3月29日開催 評議員11名・理事3名出席	
評議員会 議案番号	議 案 内 容
第6号	令和6年度事業計画案について
第7号	令和6年度資金収支予算案について

(3) 評議員選任・解任委員会の開催状況

月日	出席者	内 容
6月13日	4名	第1回評議員選任・解任委員会
12月25日	5名	第1回評議員選任・解任委員会

(4) 監査会の開催状況

月日	出席者	内 容
5月25日	2名	令和4年度事業報告及び決算監査
10月18日	2名	令和5年度中間監査
1月19日	2名	財政支援団体への町監査委員監査

(5) 三役会の開催状況

月日	出席者	内 容
5月30日	4名	第1回理事会及び第1回評議員会に提出する議案等について
12月14日	4名	第4回理事会に提出する議案等について
2月29日	4名	第5回理事会及び第2回評議員会に提出する議案等について

(6) 部会・委員会の開催状況

月日	出席者	内 容
4月27日	2名	福祉サービス苦情解決第三者委員会
6月22日	4名	第1回調査広報部会
9月26日	4名	第2回調査広報部会
1月9日	4名	第3回調査広報部会
3月25日	4名	第4回調査広報部会

(7) 事務局体制の充実と職員の資質向上

① 職員会議、ミーティング等の開催

職員の資質向上と福祉サービス向上及び各部署間の連携・協力を目的に、必要に応じて随時職員会議を開催した。

② 人事評価制度に係る職員面談

10月23日～25日、3月4日～5日に職員面談を実施し、各々の業務目標管理を行うとともに、業務実績や能力、行動を適切に把握し評価することで、意欲の向上と能力開発を図った。

② 研修会等の参加状況

月 日	内 容 等	出席者	場 所
5月19日	生活支援コーディネーター養成オンライン研修	1名	オンライン
〃	地域ケア個別会議	1名	町 内
5月22日	福祉安心電話サービス研修会	2名	オンライン
5月31日	令和5年度社協職員・監事等研修会	4名	オンライン
6月9日	社会福祉法人運営の基本対策セミナー	3名	オンライン
7月4日	令和5年度日常支援専門員・生活支援員研修会	1名	青森市
7月7日	子ども食堂体験会in黒石	1名	黒石市
〃	こども食堂との協同実践研修会	1名	オンライン
7月10日	生活支援コーディネーター情報交換会	1名	オンライン
8月26日	不登校・ひきこもりへの対話的支援	1名	大鰐町
8月29日	令和5年度市町村共同募金委員会事務担当者会議	1名	青森市
9月15日	地域ケア個別会議	1名	町 内
9月21日	令和5年度適正就業研修会（シルバー人材センター）	2名	青森市
9月24日	町防災訓練	2名	町 内
10月5日	生活支援コーディネーター養成研修 実践編	1名	オンライン
10月12日	津軽広域社協連絡協議会職員研修会	3名	弘前市
10月17日	多機関協働事業等に係る町村役場及び町村社協担当者会議	1名	藤崎町
10月30日	令和5年度地域ケア推進会議	1名	大鰐町
10月31日	青森県社会福祉大会	10名	青森市
11月13日	BCP・BCM策定研修会 応用編	2名	青森市
11月27日	法人運営セミナー	1名	青森市
11月27日	災害ボランティアセンター設置運営者研修	1名	青森市
11月29日	津軽広域社協地域福祉活動推進会議	5名	田舎館村
12月19日	令和5年度弘前圏域自治体職員向け研修会	1名	オンライン
12月20日	令和5年度社協職員基礎研修会	2名	青森市

月 日	内 容 等	出席者	場 所
1 月 17 日	津軽広域社協委員研修会	3 名	弘前市
1 月 19 日	地域ケア個別会議	1 名	町 内
1 月 24 日	公認会計士・税理士事務所による契約の見直しに関する会計経理・税務の訪問コンサルティング	2 名	青森市
2 月 19 日	相談援助技法研修会	2 名	オンライン
2 月 28 日	津軽広域心配ごと相談員研修会	2 名	平川市
3 月 8 日	地域支え合い活動研修会	3 名	大鰐町

2 地域支えあい体制の構築

(1) ほのぼのコミュニティ21推進事業

一人暮らし高齢者など見守りが必要な方の安否確認や状況把握をするため、地区ごとに見守りボランティアの「ほのぼの交流協力員」を53名配置し、地域の支え合いづくりを目的とした大鰐町からの委託事業である。

① ほのぼの交流協力員等研修会「地域支え合い活動研修会」の開催

日 時 3 月 8 日 (金)

参加者 67名

内 容

- ・ 事業説明 大鰐町社会福祉協議会より
- ・ 講義「このまちのくらしを守り続けるために大切なこと」
講師 NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター
参事 橋本泰典 氏
- ・ 事例発表
 - ・ 虹貝新田老人クラブ (畑中敏子さん)
 - ・ 童謡を歌う会 (芳賀雅子さん)
 - ・ 大鰐10町内婦人部 (松田陽子さん)
- ・ フリートーク「このつながりを大鰐町の未来へつなげよう」
(5 人 1 組のグループで情報交換)

② 「おおわにの【わ】」発行

地域のつながりの大切さ、見守り活動の啓発を目的としたパンフレット、「おおわにの【わ】」を作成し、毎戸配布した。

(2) 福祉安心電話サービス事業の実施

在宅で生活している一人暮らし高齢者などを対象に、緊急時の安全確保・不安や孤立を解消するため「福祉安心電話」を設置し、24時間体制の見守り活動を実施した。

- ・ 設 置 台 数 10台 (うち 2 台は一時休止中)
- ・ 福祉安心電話協力員数 31名

(3) 福祉懇談会「ほっとカフェ」

地域の課題についての情報交換の場や、つながりづくりの場として、開催を希望している地区へ出向き実施した。

日 時 4月18日(月) 午前10時から正午
場 所 居土地区
参加者 15名
内 容 レクリエーション、情報交換

(4) ふれあいサロンの開催

町内全域で参加者を募り、住民どうしの集いの場、地域の声を拾う場として総合福祉センターで実施した。

	開催日	内 容	参加者
第1回	8月1日	メイクアップ講座	10名
第2回	10月27日	木の実リース作り	15名
第3回	11月22日	ニュースポーツ体験(デックスティックゲーム)	8名
第4回	12月20日	ニュースポーツ体験(モルック)	8名
第5回	1月27日	映画観賞会・ふれあい昼食会	51名
第6回	2月21日	ぬり絵でマインドフルネス	16名

(5) 「福祉センターみんなの作品展」の開催

生きがいづくりや地域社会との交流を目的に例年実施しているもので、令和5年度は11月15日から12月9日まで総合福祉センターロビーにおいて、当館利用の子どもたちや町内の福祉施設の利用者、地域の住民等の作品(写真、手芸、工作等)を展示した。

(6) 生活支援体制整備事業の推進

当該事業は、高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って自分らしく生活するため、高齢者の生活支援ニーズの把握、不足する支援サービスを創出及び既存の取組み等へ繋げることを目的としており、令和5年度は、特に通いの場の調査、地域のつながりの大切さの周知等に重点を置いて実施した。

① 通いの場の調査

地域づくりの基盤となる住民同士のつながりを充実化するために、令和4年度に実施したアンケートや聞き取り調査の結果及び社会福祉協議会が事業を通して係る住民からの情報をもとに通いの場等へ出向き調査分析を行った。(延べ61件)

② 既存の通いの場の維持継続や新規立ち上げの支援

①の調査と併せ、取材先では、通いの場や地域のつながりや支え合いが、介護予防に資することを共有した。また、通いの場となり得る社会資源等の把握とマッチング、情報提供等を通して新規立ち上げ支援を行った。

③ 地域づくり講座等の開催

	開催月日	対 象	人数	備 考
1	4月15日(土)	母親クラブ会員	21名	総会研修会
2	7月11日(火)	嘱託員他	39名	社協会費納入打合せ会
3	11月17日(金)	ほのぼの協力員、民生委員児童委員	7名	地域のお宝発表会inあおもり(オンライン)
4	11月19日(日)	大鰐町社会福祉大会参加住民	208名	大鰐町のお宝紹介
5	12月5日(土)	大鰐7町内B、大鰐10町内住民他	22名	市町村個別支援講師：橋本泰典
6	12月27日(水)	シルバー人材センター会員	12名	正月飾り講習会
7	1月16日(火)	老人クラブ会員	33名	新年顔合せ会

3 福祉教育・ボランティア活動の推進

(1) ボランティア推進校の指定

町内の小中学校を「ボランティア推進校」として指定し、ボランティア活動や体験学習の機会を提供し、児童・生徒のボランティア活動推進を目的に実施した。

- ・指定校状況

大鰐小学校	36年目
大鰐中学校	31年目

(2) 小学校のボランティアスクール

- ・月 日 10月16日(月)
- ・場 所 大鰐小学校
- ・対 象 6年生48名
- ・内 容 高齢者疑似体験

(3) ボランティアセンターの設置

解散したボランティア連絡協議会の受け皿として、ボランティアセンターを設置し、ボランティア活動しやすい環境を構築した。

- ・令和5年度実績

月 日	行事名	参加団体	人数
7/ 2 (日)	児童館まつり	大鰐町連合婦人会	6名
7/25 (火)		大鰐町読書推進会	4名
7/27 (木)		大鰐町食生活改善推進委員会	4名
8/ 1 (火)			5名
8/ 3 (木)	児童館食堂	大鰐町赤十字奉仕団	5名
8/ 8 (火)			5名
8/10 (木)		あすなろ母親クラブ	9名
8/17 (木)			8名
8/22 (火)		大鰐町連合婦人会	5名
9/ 5 (火)	長寿福祉祭	大鰐町赤十字奉仕団	6名
12/26 (火)		あすなろ母親クラブ	10名
1/ 9 (火)	児童館食堂	大鰐町連合婦人会	6名
1/11 (木)		大鰐町赤十字奉仕団	5名
2/10 (土)	入学おめでとう会準備	大鰐中学校生徒	4名

4 生活困窮者等の自立支援

低所得者などを対象とした資金貸付制度および生活困窮者自立支援事業、フードバンク等について関係機関と連携を図りながら活用を推進した。

生活困窮に関する相談は全9件あり、下記事業の活用や関係機関と連携し、自立を支援した。

- (1) たすけあい資金（債権者：大鰐町社協）
 - ・令和5年度貸付決定 1件 50,000円
 - ・令和5年度償還金額 合計 80,000円
- (2) たすけあい援助事業（物資支給）
 - ・令和5年度利用世帯 6世帯12件（食料）
- (3) 生活福祉資金貸付事業（債権者：青森県社協）
 - ・令和5年度貸付決定 無し
 - ・令和5年度償還率 24.50%
- (4) 生活困窮者自立支援事業との連携
個別に支援対象者の相談対応、関係機関との打ち合わせを行った。家計管理に関する課題が多く、就労支援や様々な制度の情報提供をした。
 - ・中南地域窓口支援調整会議 支援対象者 6名（3月末日時点）
- (5) ひとり親世帯新入学児童生徒学業応援事業
共同募金配分金事業の一環として、ひとり親世帯で、次年度小学校、中学校に入学する児童生徒へ一人5,000円分の図書カードを配布した。
 - ・小学校入学児童 5名
 - ・中学校入学生徒 5名
 - 合計 10名

5 総合相談・援助体制の確立

- (1) 大鰐町心配ごと相談所の開設
大鰐町総合福祉センターにおいて、一般相談所を開設し、町民の心配ごとの解決・解消を支援した。
 - ・開設日 4月6日、5月11日、5月19日、6月1日、7月13日、9月4日、9月7日、9月12日、9月19日、9月25日、10月27日、11月2日、11月22日、12月7日、1月11日、1月18日、3月7日（計17回）
 - ・相談件数 24件（相続、家族関係、金銭貸借、不動産、債務整理 等）
- (2) 広域法律相談所事業
毎月、平川市社協、西目屋村社協、藤崎町社協、板柳町社協、田舎館村社協、大鰐町社協の持ち回りで弁護士による法律相談所を開設し、町民の様々な心配ごとの解決・解消を支援した。
 - ・開設日 11回（うち大鰐町総合福祉センターで2回）
 - ・相談件数 9件（大鰐町で実施した2回中での相談件数）

(3) 福祉サービス苦情解決第三者委員の設置

大鰐町が実施している指定管理施設（老人福祉センター、児童館）利用者などからの苦情や要望を適切に解決するために設置（委員3名）

令和5年度は特に苦情は無かった。

6 生活支援体制の確立

(1) 日常生活自立支援事業

高齢化などにより、判断能力が不十分な方を対象に、生活支援員と連携し、日常的な金銭管理や重要書類の預かりなどのサービスを実施した。

令和5年度は、2～3日に1件の利用者が増えたため、支援回数が2倍以上増加した。

- ・利用者 12名
- ・生活支援員 3名
- ・支援回数 319回（令和4年度：148回）

(2) 介護用品支給サービス事業

在宅生活をしている要介護状態の高齢者などに対して紙おむつ等の介護用品を支給することで、経済的負担の軽減を図ることを目的に実施した。

- ・地域支援任意事業（要介護4～5の非課税世帯 大鰐町委託事業）： 対象者 延べ40名
- ・老人福祉事業（要介護1～3の非課税世帯 社協独自事業）： 対象者 延べ80名

(3) 福祉機器の貸出事業

在宅の要介護状態の高齢者や障がいのある方を対象に、経済的負担と介護負担などの軽減を目的とした、福祉機器（車椅子等）の貸出をおこなった。

- ・貸出件数 5件（車椅子）

7 福祉啓発活動の推進・福祉情報の提供

- (1) 社会福祉法人大鰐町社会福祉協議会のホームページ公表
社協のホームページを効果的に活用し、福祉に関する情報の提供や、社協が行った事業のPRを行った。
- (2) 社協広報誌「ウェルフェアおおわに」の発行
年に4回発行し、住民の皆様に福祉情報及び社協の事業活動の情報提供を行った。
- (3) 大鰐町社会福祉大会の開催
住民主体による地域福祉の推進に向けて共通認識を深めるとともに、この町の社会福祉の向上に尽力され、多大な功績を残された方々を表彰し、感謝の意を表すことにより、本町の社会福祉の一層の発展に資することを目的に開催した。
なお、令和5年度は、令和元年度以来の完全開催となったほか、駐車場確保の問題から、初の日曜日開催となった。
 - ・日 時 11月19日（日）午前10時
 - ・表彰者 3名
 - ・感謝状贈呈者 2団体
 - ・参加者 208名

8 福祉バス事業

冬期間、引きこもりがちとなる高齢者の活動量の向上と集いの機会の提供を目的として、12月から3月まで、町内各地区から総合福祉センターまでの往復区間を運行する高齢者入浴福祉バス事業を行い、併せて令和5年度冬期間高齢者生きがい事業「元気ハツラツ!オオワニマチD!!」を実施した。

運行ルート	運行日	利用者数
①唐牛・島田・早瀬野・虹貝新田・虹貝方面	12/8（金）	28名
	1/10（水）	26名
②高野新田・居士・三ツ目内・森山・八幡館・鯖石・宿川原方面	1/27（土）	25名
	2/21（水）	24名
③駒ノ台・九十九森・長峰・苦木方面	3/14（木）	22名
計		125名

※ 令和5年度冬期間高齢者生きがい事業「元気ハツラツ!オオワニマチD!!」の実績は、15頁を参照

9 指定管理者制度・受託事業の効果的運営（大鰐町指定管理：令和5年度～令和8年度）

（1）大鰐町老人福祉センターの管理運営（14～15頁）

（2）大鰐町中央児童館の管理運営（16～22頁）

（3）第19回大鰐町長寿福祉祭

総合福祉センターにおいて式典を開催した。

令和5年度は、令和元年度以来となる完全開催となった。

- ・日 時 9月6日（火）午前10時
- ・対象者 ①長寿番付 横綱・大関 5名
②90歳顕彰者 63名
③金婚夫婦 2組
- ・参加者 169名

（4）大鰐町戦没者追悼式

大鰐町総合福祉センターにおいて、来賓及び戦没者の関係者36名の参加によりしめやかに戦没者を追悼した。

令和5年度は、令和元年度以来となる来賓を招いての実施となった。

- ・日 時 8月20日（日）午前11時

10 福祉関係団体への援助及び団体育成支援

（1）助成事業

社協の補助金交付を受ける5団体について団体運営の健全化を図ると共に、団体の目的を達成するため、団体の育成支援をした。

・補助金交付団体

大鰐町老人クラブ連合会、大鰐町単位老人クラブ（11団体）、大鰐町遺族会、大鰐町母子寡婦福祉会、大鰐町身体障害者福祉会

（2）団体事務局

社協が各団体の事務局となり、協働して各事業を展開した。なお、次の3団体については、社協の事業と密接に連携しており、事業を進めるにあたり、不可欠の団体となっている。

・団体一覧

大鰐町老人クラブ連合会、大鰐町共同募金委員会、あすなろ母親クラブ

11 共同募金運動への協力

大鰐町共同募金委員会が中心となり、10月1日より共同募金運動を実施した。人口の減少にともなって寄付も減少傾向にあるが、前年度の募金額に近い募金額となった。

令和2年度から500円以上の寄付者（戸別募金以外）に対して、町のキャラクターが描かれたピンバッジを進呈しているが、令和5年度もデザインをいくつか考案し、福祉センター来館者による投票で決定した。

・募金運動期間	10～2月
・募金金額合計	1,453,425円（目標額1,500,000）
■内訳	
戸別募金	1,266,230円
街頭募金	18,317円
学校募金	10,047円
職域募金	82,408円
その他	76,423円（ピンバッジ寄附を含む）

12 関係機関・団体との連携

次の機関と連携を取り、各事業の運営を行った。

- ・大鰐町
- ・津軽広域社会福祉協議会
（弘前市社協、黒石市社協、平川市社協、藤崎町社協、板柳町社協、田舎館村社協、西目屋村社協）
- ・青森県市町村社会福祉協議会連絡協議会

令和5年度 大鰐町老人福祉センター事業報告

1 事業概要

高齢者福祉の向上を図るため、生きがい事業の実施や老人クラブ活動の援助を行った。また、施設の使用料徴収および減免、設備の維持管理及び必要に応じた修繕などに係る業務を行った。

2 公共施設の管理運営

月	開館 日数	浴場開 設日数	入浴者数 (人)	入浴料 (円)	備 考
4 月	24	23	376	30,450	・温泉臨時休業（断湯）
5 月	24	24	333	26,550	
6 月	26	26	345	27,500	
7 月	26	24	264	20,100	・臨時開館（児童館まつり）
8 月	26	25	255	19,700	・温泉臨時休業（電気設備点検） ・臨時開館（戦没者追悼式）
9 月	24	24	260	20,000	
10月	25	25	368	29,700	
11月	25	24	366	29,800	臨時開館（福祉大会）
12月	24	24	330	28,050	
1 月	23	22	338	29,700	4 日 臨時休業（調整）
2 月	24	23	344	29,850	臨時開館（入学おめでとう会）
3 月	25	24	379	32,300	臨時開館（ボイラー燃料配管改修）
合計	296	288	3,958	323,700	
前年比	△2	+2	+23	△6,650	

- ・浴場清掃を次のとおり実施

毎 日：次亜塩素酸ナトリウムを使用した清掃及びお湯の交換
 月 1 回：業務用洗剤（酸性）による薬剤清掃
 年 2 回：業者によるカビ取り清掃

- ・温泉に係るレジオネラ属菌検査（年 4 回実施）は全て異常なし。

- ・施設老朽化による給排水の修繕が多く見られた。（8 件、219,120円）

3 生きがい活動

(1) 冬期間高齢者生きがい事業

入浴福祉バス事業と併せて、令和5年度冬期間高齢者生きがい事業「元気ハツラツ!オオワニマチD!!」を実施した。

行 事	開催日	参加人数
ニューススポーツ体験（モルック）	3/14（木）	20名

(2) ふれあいサロン

共同募金配分金事業で、町内全域で参加者を募り、住民どうしの集いの場、地域の声を拾う場として総合福祉センターで実施した。

※ 令和5年度ふれあいサロンの実績は、6頁を参照

(3) 世代間交流事業

児童館では次のとおり実施した。

行 事	開催日	参加人数
いも植え&花いっぱい作戦	5/13（土）	34名
児童館まつり	7/2（日）	348名
じゃがいも掘り	8/9（水）	42名
夏のお茶会	8/21（月）	43名
三世代交流 もちつき会	1/10（水）	171名
合 計		638名

4 老人クラブ事業

新型コロナウイルス感染症が収束に向かい行動等が緩和されたことにより、事業を再開した。

行 事	開催日	場 所	参加人数
定時総会	4/11（火）	福祉センター	27名
グラウンドゴルフ大会	6/23（木）	あじやら常設グラウンドゴルフ場	27名
県老連芸能発表会	10/7（金）	リンクステーションホール青森	28名
中南郡老連スポーツ交流会	10/13（金）	あじやら常設グラウンドゴルフ場	22名
第3回カラオケ部会	10/18（水）	シーハイル	10名
中南郡健康講話	11/24（金）	西目屋村中央公民館	17名
幹部研修会	11/18（金）	ブナの里白神館	30名
町老連芸能発表会	12/8（金）	福祉センター	122名
中南郡芸能発表会	12/22（金）	藤崎町文化センター	36名
新年顔合わせ会	1/16（火）	〃	24名
屋内ペタンク大会	2/20（火）	〃	56名
トランプ大会	3/12（火）	〃	29名
合 計			428名

5 消防総合訓練

消防法により年2回の訓練が義務付けられているため、児童館と共催で7/28と1/12に実施した。

大鰐町中央児童館 令和5年度年間事業実績

1 事業概要

- (1) 幼児から高校生までを対象とし、健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにする。
- (2) 昼間保護者のいない家庭の児童を対象とし、遊びを主とする活動を行い、安心して過ごせる居場所を作る。
- (3) 地域住民と子どもたちがふれあいながら交流できる活動と場所づくりをし、地域全体が子育てを行う環境づくりに努める。

2 年間目標

- (1) 仲間との色々な遊びや体験を通して心身ともに健やかな成長を目指す。
- (2) 異年齢児との関わりの中で、思いやりの心と社会性を育む。
- (3) 日常のあいさつ、言葉づかいや公共の場での基本的ルールを身につける。
- (4) 人やものを大切にする心を育む。

3 年間事業

月	日	曜日	事業名	内容	人数	備考
4	中旬		出前じどうかん	読書まつりにコーナー等を出前する	—	中央公民館、読書推進会
	24	月	ウェルカムパーティー	新しい友だちを迎え、お楽しみ会をする	46	福祉センター
5	11	木	児童館運営委員会	前年度の報告と今年度の事業計画について	14	福祉センター
	13	土	いも植え	じゃがいもの植付け	34	福祉センター裏畑 子育て支援 世代交流
	13	土	花いっぱい作戦①	地域の方々と花壇やプランターに花を植え楽しむ		福祉センター 花壇他 世代交流
	25	木	公園の安全点検 危険箇所点検	地域や公園で遊具等の点検を行う	9	母親クラブ
6	17	土	ふれあいクッキングⅠ	栄養について学ぶとともに調理を通してふれあう	20	老人クラブ
	24	土	まち探検 (大鰐町を歩こう)	町内を散策しながら危険箇所も確認する	28	町内・福祉センター
7	2	日	児童館まつり&健康フェスタ	ステージ、出店、工作、体験コーナーなど	348	世代交流、母親クラブ、子ども会、 中学生ボランティア、子育て支援、 読書推進会、保健福祉課
	26	水	おばけ屋敷で遊んでみた	子どもたちが自分たちで自由に設定してお化け屋敷を作る	54	福祉センター
8	2	水	すいか割り	すいか割りを楽しむ	86	福祉センター 子育て支援
	9	水	じゃがいも掘り	春に植えたいもや野菜の収穫を楽しむ	42	福祉センター 花壇他 世代交流
	21	月	世代間交流夏のお茶会	地域の方々とお茶会を通して交流する	43	地域交流
	22	火	館外活動①	仲間と共にボウリングを楽しむ	53	弘前ファミリーボウル
	中旬		駄菓子屋ごっこ	売り手や客役を体験しながらお金の使い方を学ぶ	—	福祉センター
9	9	土	ふれあいクッキングⅡ	栄養について学ぶとともに調理を通してふれあう	24	母親クラブ

月	日	曜日	事業名	内容	人数	備考
10	14	土	お出かけ児童館	公園や体験施設に出かける	32	
	18	水	防犯訓練	不審者対応訓練	59	職員、児童
	27	金	科学遊びを楽しもう	仲間とともに色々な科学あそびを楽しむ	37	三沢航空科学館
	28	土	スポーツ交流会と豚汁会	親子でスポーツや豚汁を楽しむ	40	福祉センター スポネット弘前
11	11	土	木工教室	地域の大工さんに教わる木工作品作り	20	親子参加型
	15	水	福祉センターみんなの作品展	チャレンジクラブ等での作品や母親クラブの作品を展示する	開催	福祉センターロビー (12/9まで)
	25	土	出張ふれあい児童館	地域の方々と交流しながら様々な遊びを楽しむ	33	虹貝新田へき地 保健福祉館
12	9	土	児童館カフェ	地域の方々とカフェを通して交流する 自分の役割に責任を持つ	100	福祉センターロビー
	10	日	クリスマスお楽しみ会	ステージ、出店、工作、フリーマーケットなど	—	世代交流、母親クラブ、子ども会、 中学生ボランティア、子育て支援、 読書推進会他
	16	土	ふれあいクッキングⅢ	クリスマスメニューと栄養について学ぶ	23	民生委員児童委員
	27	水	パソコンでカレンダー作り	パソコンを利用してカレンダー作りを楽しむ	19	福祉センター図書室
1	9	火	雪あそびを楽しもう	坂で滑ったり、雪だるまやかまくら作り をして雪と戯れる	—	福祉センター外
	10	水	三世代交流もちつき会	三世代が餅つきと遊びを通して交流する	171	母親クラブ、老人クラブ、 子育て支援等
	12	金	館外活動②	仲間とともにボウリングを楽しむ	54	ボウリング場
2	11	日	入学おめでとう会	新入学児童を迎えて地域の方々とお祝い する	93	町内新入学児童、保護者
	27	火	児童館運営委員会	今年度の事業実施状況と次年度事業の検 討	17	福祉センター
	中旬		世代間交流春のお茶会	地域の方々とお茶を楽しむ	—	老人クラブ（サロン）
3	27	水	がんばった会	お楽しみ会で今年度を振り返る	63	福祉センター
	28	木	館外活動③	仲間と共に映画鑑賞を楽しむ	53	弘前市内
通年	水		チャレンジクラブ	工作、手芸、おやつ作り、チャレンジラ ンキングやあそびの検定など	延べ 1435	毎週水曜日
夏休み8回 冬休み3回			児童館食堂 児童館食堂	学校休業中における栄養面のサポートと 子育て家庭の負担の軽減のため昼食を提 供する	531 187	ボランティアセンター 登録団体
随時			子育て相談窓口	児童館職員が子育てに関する悩みの等の 相談に対応する		福祉センター

※ 避難訓練（毎月1回）



児童館食堂



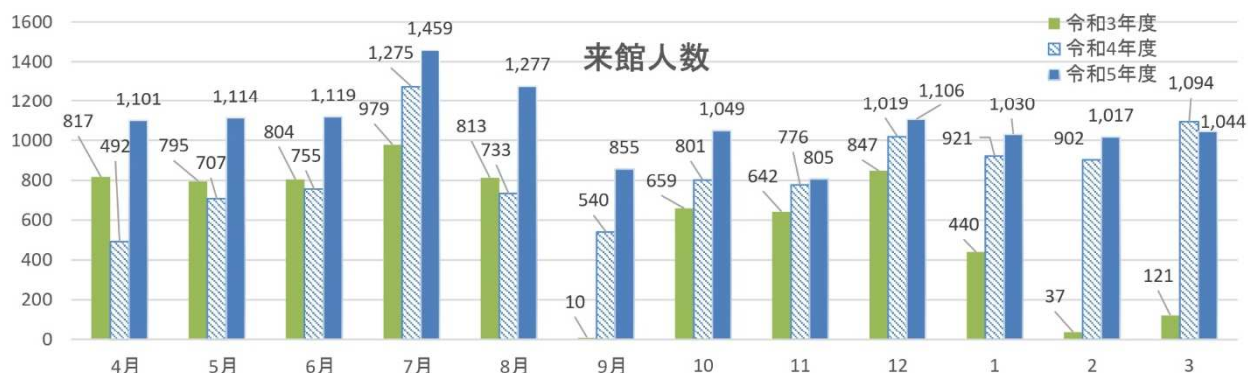
放課後児童クラブバス運行

4. 年間事業

令和5年度 開設日数及び利用人数

月	開館日数	幼児	小学生（低）		小学生（高）		中学生	高校生	一般	計	うち登録 一日平均	その他の 利用状況
			登録	任意	登録	任意						
4	24	4	846	0	129	5	39	1	77	1,101	41	224
5	24	3	872	3	92	10	35	15	84	1,114	40	197
6	26	1	892	4	87	3	63	6	63	1,119	38	294
7	26 (25)	40	855	57	107	36	71	15	278	1,459	38	162
8	26	11	909	2	176	22	69	4	84	1,277	42	140
9	24	1	691	0	57	0	53	10	43	855	31	520
10	25	3	812	0	73	13	74	2	72	1,049	35	126
11	24	13	591	2	55	7	52	0	85	805	27	496
12	24	12	798	0	103	10	79	6	98	1,106	38	472
1	23	5	677	1	144	10	65	3	125	1,030	36	370
2	24	20	737	1	78	10	49	0	122	1,017	34	333
3	25	1	772	0	94	31	92	4	50	1,044	35	453
合計	295 (294)	114	9,452	70	1,195	157	741	66	1,181	12,976	36	3,787
利用割合		0.9%	72.8%	0.5%	9.2%	1.2%	5.7%	0.5%	9.1%	100.0%		

※（ ）放課後



令和5年度 登録人数及び利用状況

							R5.11.22現在
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
ほぼ毎日利用	14	16	10	0	3	0	43
週何度か利用	13	17	9	13	3	8	63
学校休業日利用	5	2	3	1	1	2	14
	32	35	22	14	7	10	120

利用者数は、年々増加傾向にあり、今年度は13,000人近くとなった。利用者別では、登録児童の高学年の利用は、あまり変化がないが、低学年の利用者が特に増加している。

令和5年度時間外利用実績							
月	7:15～	7:45～	早番計	～18:30	～19:00	遅番計	時間外月計
4	15	70	85	18	3	21	106
5	6	29	35	22	3	25	60
6	8	13	21	24	4	28	49
7	39	79	118	35	3	38	156
8	85	148	233	22	2	24	257
9	8	16	24	16	3	19	43
10	6	16	22	22	1	23	45
11	7	15	22	30	1	31	53
12	35	45	80	12	3	15	95
1	50	58	108	9	0	9	117
2	16	21	37	19	2	21	58
3	27	43	70	21	2	23	93
累計	302	553	855	250	27	277	1,132
月平均	25	46	71	21	2	23	94

5. 令和5年度の状況

(1) 職員体制

児童厚生員	2名	
放課後児童支援員	常勤	1名(9月より)
放課後児童支援員	5名	当番制で2名ずつ勤務
補助員	3名	

(2) 児童館食堂の実施

夏休み 計8回 無料 のべ531名(申込者数620名)
調理依頼 大鰐町社会福祉協議会ボランティアセンター
あすなろ母親クラブ、大鰐町食生活改善推進委員会
大鰐町赤十字奉仕団、大鰐町連合婦人会、大鰐町読書推進会

冬休み 計3回実施 1回100円徴収 のべ187名(申込者212名)
調理依頼 大鰐町社会福祉協議会ボランティアセンター
あすなろ母親クラブ、大鰐町赤十字奉仕団、大鰐町連合婦人会
メニュー作成 大鰐町食生活改善推進委員会

(3) 利用状況

4月 平日は50人以上 行事の日 70人以上の日もあった
平日 40～50人 60人以上の日もあり
夏休み・冬休み 平日60人以上 行事や児童館食堂の日は70人以上80人の日もあり

(4) 学校から児童館までの安全対策

6月より交通指導員1名 低学年下校時に瀬戸勘前付近で指導(毎日)

(5) 放課後児童クラブバス運行

12月1日～3月26日 放課後児童クラブ利用児童対策
大鰐駅～児童館前
大型バス使用 病院解体工事に伴い、児童館まで入れず病院入口で下車
1月より雪のため病院入口に入れず、病院前道路で下車
大鰐駅から職員1名バスに乗車 下車後、職員・交通指導員で児童館まで誘導(1、2年)

(6) 事故・ケガ

- ・令和5年4月7日(金)16時40分頃 2年生男子
バドミントン中の子どものシャトルをつかもうとして、振ったラケットが顔にあたった
打撲 通院2日
- ・令和5年5月10日(水)15時頃 1年生男子
かくれんぼをしている時、滑って転倒し足首をひねった
右足関節捻挫 通院12日

(7) その他

- 11月1日(水) 保護者引渡し〈クマの目撃情報による〉
- 11月7～9日 学校閉鎖(風邪症状による欠席者が多い)
放課後児童クラブ登録児童やむを得ない場合のみ対応
⇒ 8, 9日 各1名利用
- 1月23～25日 2年生学年閉鎖(風邪症状による欠席者が多い)
放課後児童クラブ登録児童やむを得ない場合のみ対応
⇒ 利用児童なし

令和５年度 大鰐町中央児童館研修参加状況

期 日	名 称	参加者
5/19	青森県児童館連絡協議会館長・職員研修会	欠席
7/ 1	手作りおもちゃ講習会	小笠原
7/11	放課後子どもプラン指導員等研修会(前期)	大越・小笠原
7/13	「社会を明るくする運動」講演会	小笠原
9/13	放課後子どもプラン指導員等研修会(後期)	大越・藤田
10/3.4	児童厚生二級指導員研修会	小笠原・藤田
11/7	児童館職員・放課後児童支援員等研修会	小笠原・藤田
11月	放課後児童支援員に係る都道府県認定資格研修 ※放課後児童支援員の認定資格を得るには16科目 24時間の研修を受けなければならない。	なし
12/14	青森県放課後児童支援員資質向上研修会 ～中堅者コース～	須藤

令和5年度 大鰐町中央児童館 消火・避難訓練実施報告書

目 標 避難訓練の意味と大切さを知るとともに、利用者が職員の指示に従い落ち着いた態度で機敏に行動できるようにする。また、職員が広い館内でも的確に伝達や指示、誘導が出来るようにする。

内 容 火災、地震、不審者侵入、自然災害を想定した避難訓練（年間13回）
（詳しい想定状況や訓練目的、役割分担、配慮等については、実施1週間前に関係職員へ配布）

参 加 者 児童館利用者、職員
（総合訓練については、福祉センターの利用者も含む）

実 施 内 容

	日 時	訓練内容	想 定	参加人数
1	4月24日（月）15:30～15:50	消火・避難誘導	火災 1階娯楽室	55
2	5月9日（火）16:00～16:15	消火・避難誘導	地震	58
3	6月9日（金）16:00～16:20	消火・避難誘導	火災 2階遊戯室	57
4	7月28日（金）10:00～10:40	通報・消火・避難誘導	総合訓練	70
5	8月22日（火）14:00～14:20	消火・避難誘導	地震	76
6	9月19日（火）16:00～16:20	消火・避難誘導	火災 2階視聴覚室	39
7	10月18日（火）16:00～16:20	通報・避難誘導	防犯避難訓練（不審者侵入）	59
8	10月20日（金）16:00～16:20	消火・避難誘導	地震・火災 1階男子浴室	42
9	11月30日（木）16:15～16:30	消火・避難誘導	火災 2階小会議室	42
10	12月11日（月）10:00～17:00	情報収集・消火・避難誘導	非常災害（水害）・火災 1階ロビー	46
11	1月12日（金）15:30～16:00	通報・消火・避難誘導	総合訓練	64
12	2月8日（木）16:00～16:30	消火・避難誘導	地震・火災 2階廊下	39
13	3月2日（土）14:00～14:30	消火・避難誘導	火災 1階給湯室	33
				計 680名

※ 総合訓練については、総合福祉センターの訓練に参加

年間を通し非常ベル音に対しての危機感をもつものの、訓練だとわかると安堵感からかその後の避難指示に関する放送内容を最後まで真剣に聞き入れない様子の子が目立っていた。そのため、その都度訓練の大切さについて、繰り返し指導をしてきた。年度後半からは、個人差はあるものの場面や状態に応じ真剣に参加しようとする意識や姿が見られる子が増え、迅速な避難ができるようになった。

令和５年度 大鰐町シルバー人材センター事業報告

1 就業機会の提供

会員の就業機会の提供は、会員の希望や能力、経験等を考慮しながら希望を配慮のうえ、グループ就業、ローテーション就業で仕事の配分をした。

仕事の内容は、除草、草刈り、清掃、りんご農作業及び駐車場誘導等で、新規のちょこっとサポート(訪問型サービスB)事業を受託した。冬季の積雪が少なく、除雪作業受注件数及びスキー場駐車場管理の就業日数が減少した。

・令和５年度 ３月末会員数 男 20名 女 21名 計41名

入会会員 男 4名 女 9名

退会会員 男 3名 女 2名

(退会理由 病気、加齢、未回答)

・令和５年度 職群別事業実績

区分	職種	受注 件数 (件)	就業 実人員 (名)	就業 延人員 (名)	契約金額			
					配分金	事務費	材料費等	合計
サービス	ちょこっとサ ポート事業	7		163	244,500	29,340	27,384	301,224
保 安	通学指導、 駐車場誘導	30		530	1,052,050	113,345	116,539	1,281,934
農林漁業	りんご農作業 雪囲い	44		615	4,139,820	413,980	145,290	4,699,090
生産工程	網戸張替、屋 根雪止め取付	1		1	3,600	360	1,220	5,180
運搬・ 清掃・ 包装等	清掃・徐草・ 草刈り	273		2,868	7,482,381	779,964	1,049,528	9,311,873
合計		355	38	4,177	12,922,351	1,336,989	1,339,961	15,599,301
前年度計		340	34	4,122	13,544,455	1,394,447	1,429,566	16,368,468

2 安全・就業対策の強化

センターの受託した仕事が、会員にふさわしい臨時的かつ短期的で軽易なものであったか確認し、就業中及び就業途上における事故防止のための声かけをした。

・ 保険適用事故一覧

傷害事故 2 件

事故発生日	就業中 途上別	性別	年齢	事故の型 症状 部位	事故の概要 事故の原因	センターの対応
令和 5 年 8 月 1 1 日 (金)	就業中	男	73	蜂刺され	(1) 草刈作業中、草の中 から出てきた蜂に刺され た。 (2) 予測はしていたが、 蜂を確認できず回避でき なかった。	会員自ら受診。 本人より連絡を受け、 保険会社へ手続きし た。
				手甲		
				皮膚の炎症		
令和 5 年 8 月 2 2 日 (火)	就業中	男	75	蜂刺され	(1) 草刈作業中、腐った 木の根元から出てきた蜂 に刺された。 (2) 予測はしていたが、 蜂を確認できず回避でき なかった。	会員自ら受診。 本人より連絡を受け、 保険会社へ手続きし た。
				肘		
				皮膚の炎症		

損害賠償事故 1 件

事故発生日	事故発生の状況および原因		(1) 事故の概要 (2) 事故の原因	センターの対応
	ア：仕事の内容	イ：事故の型		
令和 5 年 8 月 3 1 日 (月)	蜂須駆除（他に分類されな い運搬、清掃、包装等の職 業）	その他就業中の破損	(1) 蜂須駆除依頼が あり、巣を探して 誤って軒天を破損。 (2) 会員の勘違いに よる。	会員から連絡を受 け、状況を確認。被 害宅へ謝罪。修理の 手配をするため、建 設課、業者、保険会 社へ連絡した。

3 その他

令和 5 年 4 月 22 日 (土)	令和 5 年度春の清掃奉仕活動	17 名
令和 5 年 7 月 7 日 (土)	令和 5 年度大鰐町シルバー人材センター 設立 20 周年顔合わせ会	27 名
	ゼロから始めるスマホ教室	15 名
令和 5 年 12 月 26 日 (月)	除雪機操作講習会	7 名
令和 5 年 12 月 27 日 (金)	正月飾り手作り講習会	12 名